

1

特集

新たな一歩を踏み出す春

 Vol.43
 May
 2025

— 令和6年度卒業式を挙行 —

3月25日(火)、令和6年度埼玉大学卒業式・大学院修了式をさいたまスーパーアリーナにて挙行し、学部学生1,491名、大学院博士前期課程学生588名、博士後期課程学生31名が本学を巣立ちました。

坂井貴文学長は式辞で「真に自分の考えを確立するためには、常に『学びそして考えること』が必須であることを自覚してください。直面するこの時代の危機を克服し、多様性や俯瞰の視点を公平に保つために、能動的に学び自らの頭で考え続けてください」と卒業生・修了生にエールを送りました。

また、先輩卒業生からのエールと題し、本学教養学部を卒業された設楽咲紀氏による卒業生へのメッセージをいただきました。



▲式辞を述べる坂井学長



▲設楽咲紀氏によるメッセージ



▲記念撮影の様子

令和6年度「梶田隆章賞」に2名が受賞



▲梶田隆章賞を受賞した鴫崎さん(左)と秦さん(右)

本卒業式では「梶田隆章賞(本学理学部を卒業し、2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章さんの栄誉を称え、次世代の若手研究者の育成を目的に設立)」の授与も行われ、本賞を受賞した理学部生体制御学科 鴫崎 皓紀さん、工学部機械工学・システムデザイン学科 秦 幸輝さんの2名にクリスタル盾と副賞が授与されました。

オンラインマガジン「SAIDAI CONCIERGE」では、鴫崎さんと秦さんにインタビューを行い、受賞の感想や今後の目標についてお話を伺いました。是非ご覧ください! (近日公開予定)

オンラインマガジン「SAIDAI CONCIERGE」
<https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/scweb/>



2 教育

教育連携、次のステージへ

— 埼玉大学×埼玉県立大学、大学院でも単位互換を実現 —

本学と埼玉県立大学は、大学院における単位互換について覚書を取り交わし、2月13日(木)に締結式を行いました。本覚書は、相互の交流と教育の充実を目的として、互いの大学の大学院が提供する科目を履修し、単位を修得できるようにするものです。これにより、大学院教育の質的向上と学生の学習機会の拡大を図ります。

今回の覚書締結により、単位互換の枠組みが令和5年4月から開始した学部レベルから大学院レベルにも拡大され、大学院生も学問分野の深化と学びの幅を広げることが可能となりました。本学は今後も埼玉県立大学との連携をさらに深め、教育・研究活動を通じて地域社会の発展に貢献してまいります。



▲(左から)埼玉大学 坂井学長、埼玉県立大学 田中滋理事長、星文彦学長 ※令和7年2月当時

3 教育

川端ゼミが挑んだイノベーション

— 「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」にて最優秀賞を受賞 —

本学経済学部3年生で川端庸子ゼミのチームが、一般社団法人さいしんコラボ産学官主催「開放特許を活用した学生アイデア発表会 in 埼玉」にて、最優秀賞を受賞しました。

本発表会は、県内5大学、1専門学校より14チームが参加し、大手企業の保有する開放特許を活用した商品アイデアを創出し、埼玉県内の中小企業が商品化・事業化を目指すことを目的としています。

川端ゼミチームの商品アイデア「LULLABY CAR」は、音の範囲を指定できる特許を活用し、赤ちゃんにのみ音が聞こえるベビーカーを提案しました。その高い実現性に加え、スライドの見やすさや発表のはきはきとした内容が学生らしい印象を与え、市場調査を通じて明確に需要を把握していた点が評価され、見事最優秀賞を受賞しました。

チーム名	ビリケン
メンバー	小野彩咲、中田恵里、橋本あんず、丸山良太、山根緒珠
アイデア名	LULLABY CAR
使用特許	株式会社リコー、フレキシブルスピーカー(平面スピーカー)



▲受賞を喜ぶ川端ゼミ学生たち

4 学生

小さな衛星に大きな夢を乗せて

— 宇宙工学サークルが能代宇宙イベントで優秀賞受賞 —

一般社団法人あきた宇宙コンソーシアム主催の第20回能代宇宙イベントにおいて、埼玉大学宇宙工学サークルあかときのチームJAXAITAMA(ジャクサイタマ)がオートデスク賞の缶サット部門優秀賞を受賞しました。

能代宇宙イベントは、秋田県能代市で毎年行われる日本最大規模の学生・社会人によるロケット打上げ及び自律ロボット制御のアマチュア大会で、宇宙教育の普及と宇宙開発を支える人的資源を育成することに加え、航空宇宙技術の交流を通じた地域活性化を目的として開催されています。

3DモデリングソフトウェアFusionを用いて細部まで再現した精密な3Dモデルでの開発設計や自らFusionの講習会を開催している姿勢が高く評価され、この度の受賞となりました。



▲受賞を喜ぶJAXAITAMAの皆さん

5 学生

学術、課外活動、社会貢献の成果を称える — 令和6年度3月期学生表彰 —

3月7日(金)、令和6年度3月期学生表彰式を開催しました。

この表彰は、学術研究等の成果が優れている学生、課外活動の成果が特に顕著である学生、社会活動において優れた評価を受けた学生、その他表彰に値すると認められた学生を表彰する制度です。今回は個人表彰22名に対して坂井学長から表彰状が授与され、学生後援会より記念品が贈呈されました。

受賞者一覧はこちら

https://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/202503130900.html



▲受賞者との記念撮影

埼玉大学の創造と情熱の成果

— チャレンジ応援プロジェクト報告会開催 —

令和6年度よりスタートした学生の「チャレンジ応援プロジェクト」活動報告会が、3月6日(木)に行われました。令和6年5月に12件の応募があり、6月の選考を経て、結果、下記3件の企画が採択されました。

- **国境を超えた文化祭「TREACH Comprehensive Fest」**
教育学部 教育実践学専修 鹿島 大貴 他2名(グループ応募)
- **マチマキプロジェクト ～埼玉県飯能市における「景観まちづくり」の実践～**
理工学研究科 博士前期課程 小山 駿
- **Park Ballet (「見る者を限定しない」バレエ披露)**
教養学部 教養学科 ソーズビーキャメロン 他2名(グループ応募)

それぞれの活動内容について、クオリティの高さから、役員、副学長から多くの質問と賞賛の声が寄せられました。総括として、坂井学長からは、「どの活動もすばらしく、正直驚いています。後輩学生にこのパワーを広げ、ぜひ本学を引っ張っていただきたいと思います」、また、野中進理事(教学・学生担当)・副学長からは、「本学の中からこのようなチャレンジをしていただく学生がいることはとても心強い」と賛辞が送られました。

チャレンジ応援プロジェクトとは?

学生のチャレンジ精神を応援するために、大学が資金援助を行う学生支援事業です。学生がプロジェクトを通して、自主性、積極性、創造性を高めることを目的としています。



▲報告の様子

各プロジェクトの報告詳細はこちら

https://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/202503171400.html



着物で楽しむ川越散策 — 日本の伝統と異文化理解 —

1月11日(土)、多様な学生が参加し国際交流を図る機会として「着物で川越散策イベント」が開催されました。本イベントは、日本の伝統文化を体験しながら交流を深めることを目的とし、国際交流を促進するプログラムの一環として行われました。

参加者は、川越市内の着物レンタル店でお気に入りの着物を選び、着付けを体験。その後、全員で「小江戸」として知られる川越の街を散策。蔵造りの建物が立ち並び一番街や、時の鐘、菓子屋横丁を訪れ、江戸時代の雰囲気を楽しみました。また、散策中には地元の方々との触れ合いもあり、「着物姿が素敵!」と声をかけられる場面もありました。

今回のイベントは、日本の伝統文化を体験しながら異文化理解と交流を深める素晴らしい機会となりました。



▲時の鐘の前にて記念撮影

地域の魅力を再発見!

— 埼玉大学生広報サポーターがさいたま市桜区のPRポスターを企画・制作 —

埼玉大学生広報サポーターがさいたま市と連携し、桜区の魅力を市内外に発信するため、桜区のPRポスターを作成しました。ポスターを見た人に、新たにその場所を知り実際に訪れてもらうことで、桜区の魅力を再発見してもらうことが目的です。また、学生としても、ポスターの撮影場所を選定する過程で、地域の歴史や文化、自然などを学ぶことができ、地域への関心が高まりました。

本事業は令和5年12月から実施し、何度も打ち合わせや現地での撮影を重ね、「笑顔になれる桜区スポット」をテーマとして、最終的な撮影場所を「千貫樋水郷公園」と「文明堂さいたまあおぞら工房」に決定。2か所で撮影した写真は8千枚以上に上り、その中からポスターに使用する2枚を選びました。また、訪れることで笑顔になれるような魅力的な場所を伝えたいという思いから、キャッチコピーを「#わくわく、さくらく。」としました。ポスターを見た人に、このハッシュタグを使って他のおすすめスポットをSNSに投稿してもらうことを狙いました。

制作過程を紹介するPR動画
(さいたま市公式YouTubeチャンネル)



▲完成したポスター

埼玉大学創立80周年記念キャッチフレーズ：創造の一步を共に

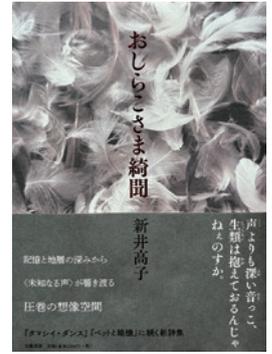
本学は、昭和24(1949)年に埼玉県唯一の国立大学として県民の大きな期待を担って誕生しました。現在では、5学部3研究科を有する総合大学となり、令和11(2029)年には創立80周年を迎えます。今後、様々な記念事業を推進する予定ですが、事業を学内外に広くPRし、その気運を盛り上げるため、このたびキャッチフレーズを募集したところ、111件の応募をいただきました。選考の結果、平井秀樹様(2018年3月人文社会科学部研究科経済経営専攻 博士後期課程 修了)の「創造の一步を共に」に決定いたしました。

10
研究

新井高子教授が権威ある大岡信賞を受賞!

大学院人文社会科学部 新井高子教授が朝日新聞社主催第6回大岡信賞を受賞しました。この賞は戦後日本を代表する詩人である大岡信氏を記念して創設されたもので、新たな芸術表現を開拓した個人や団体に贈られる賞です。詩集『おしろこさま綺聞』（幻戯書房）における、独自の混成方言によって近代の見直しと言語実験を一つにした試みが高く評価され、この度の受賞となりました。

《新井教授からのコメント》 思いがけず大きな賞をいただき、たいへん光栄です。埼玉大では「詩歌から考える日本語表現」という授業を第1・2タームに担当し、そこで若い皆さんの詩のセンスに触れ、刺激をもらうこともあります。緑豊かな埼玉大キャンパスで、葉擦れの音に耳を傾けながら、一步一步、これからも創作の道を開いていきたいと思っております。

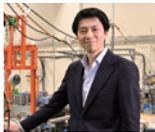


Pick up

本学教員が手掛ける注目の研究を紹介する
オンラインマガジン「Frontiers of SU Research」
最新の記事では理工学研究科3名の教員を紹介!

各記事の詳細はこちら

<https://www.saitama-u.ac.jp/research/frontiers/>



デトネーションを利用した新方式ロケットエンジンの開発を目指して 前田慎市 准教授

研究テーマは、デトネーションと呼ばれる現象。いまだ未解明の部分が多い現象のメカニズムの解明に取り組むほか、大きなエネルギーを利用して効率化を実現するロケットエンジンなどの開発などを行っています。その他の産業でも活用の可能性があるという、注目の研究の内容とは一体どのようなものなのでしょうか!

従来型加工手法の課題を解決するレーザスライシング技術 山田洋平 准教授

レーザスライシング技術とは、素材にレーザをあてることで亀裂を生じさせ、素材を加工していくもの。切りくずが出ずに加工できるため、環境汚染や材料のロスという従来の加工手法における課題を解決できると実用化が期待されています。また、どんなに硬い素材でも加工ができるのもこの技術の特徴の1つ。次世代パワー半導体の材料として期待されるシリコンカーバイド (SiC) やダイヤモンドなど、高硬度の素材の加工も可能とあって、現在注目が高まる技術に関する研究に迫ります!



位置情報を捕捉・活用し、屋内施設の課題を解決! 間邊哲也 准教授

スマートフォンの地図アプリなどで、歩行時にナビゲーションシステムを活用することはすっかり一般的になりました。このようなことが可能になるのは、スマートフォンの位置情報をGPSで正確に捕捉できるから。しかし、GPSは電波の届かない屋内施設や屋外では利用できません。この課題を解決すべく、室内でも正確に位置情報を取得できる方法と、取得した位置情報の活用に関する研究に取り組んでいます!

埼玉大学基金室より 「創立80周年記念事業募金」「研究等支援基金」募集開始のご案内

いつも埼玉大学基金へのご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。埼玉大学基金では、大学全体の機能強化および学生への奨励事業を支援する「埼玉みらい基金」、経済的理由により修学が困難な学生を支援する「修学サポート基金」、寄附者の方のご意向に沿って学生を支援する給付型奨学金「冠奨学金基金」の3つの枠組みに基づき、大学の機能強化および学生支援のためのご寄附をお願いしているところですが、2025年度からは、さらに以下2つの募金・基金を開始いたしました。



創立
80周年記念
事業募金

本学は、令和11(2029)年に創立80周年を迎えます。この記念すべき節目にあたり、「創造の一步を共に」をキャッチフレーズとして掲げ、今後の大学のさらなる発展に向けた下記の記念事業を実施することといたしました。学生・教職員・卒業生・地域社会・産業界と共に、研究に基づく教育の充実や社会・地域貢献への新たな挑戦を推進し、創造の場としてさらなる発展を目指してまいります。

●機能強化に向けたイノベーション・コモンズ(共創拠点)整備事業

グローバル人材育成環境構築(混住型学生寮整備、賃料補助等)/地域共創のための産学官連携拠点整備

●学生支援事業

障がいのある学生等への修学支援/課外活動の活性化

●創立80周年記念プロジェクト事業

創立80周年記念式典等各種イベントの実施、埼玉大学80周年史等の編纂・刊行

研究等
支援基金

未来を担う若手研究者(学生又は不安定な雇用状態にある研究者)を支援するため、論文刊行や学会参加に必要な費用を助成するほか、他の研究者や実務家との交流を通じて、専門分野における能力向上を図ることを促進する事業です。

今後とも、埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。



詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.saitama-u.ac.jp/funds/>

埼玉大学基金

検索

◆埼玉大学基金へのご寄附の累計額

令和7年3月末の状況 **738,869,343円**

うちリサイクル募金 きしゃぼん によるご寄附 **1,612,600円**

お問い合わせ先 埼玉大学基金室(総務部広報渉外課内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp

